

子どもの発達の全国調査にもとづく園児用 発達チェックリストの開発に関する研究

アンメ トキエ シノハラ リョウジ スギサワ ユウカ マルヤマ アキコ
安梅 勅江*1 篠原 亮次*2 杉澤 悠圭*2 丸山 昭子*3
タナカ ヒロシ サカイ ハツエ ミヤザキ カツノブ ニシムラ マミ
田中 裕*4 酒井 初恵*5 宮崎 勝宣*6 西村 真美*7

目的 全国の保育園児の発達状態について実態を調査し、それに基づいた園児用発達チェックリストを開発することを目的とした。

方法 対象は、長時間保育を含む全国98カ所の認可保育所を利用する22,819名の子どもである。担当保育士が各々の子どもの発達状態について、園児用発達チェックリスト試案を用いて運動発達（粗大運動，微細運動），社会性発達（生活技術，対人技術），言語発達（表現，理解）の6領域，各領域32項目，全192項目について評価した。すべての項目について，10%の子どもが実施可能となる月齢（10パーセンタイル値），50%の子どもが可能となる月齢（50パーセンタイル値），90%の子どもが可能となる月齢（90パーセンタイル値）を算出した。

結果 すべての項目について，10パーセンタイル値，50パーセンタイル値，90パーセンタイル値が試案の序列に添った形で抽出され，また基準月齢が10～90パーセンタイル値の範囲内にあることが確認された。信頼性は各領域で82.5～97.9%であった。

結論 この園児用発達チェックリストが，現在の日本における園児の発達を評価する指標として妥当であることが示された。

キーワード 子どもの発達，保育，評価，園児，全国

緒 言

少子高齢化が進む中，女性の社会進出や働き方の多様化により，長時間保育を含む幼児期の子育て支援の役割は高まるばかりである¹⁾。それらを受け，質の高い子育て支援に向けた「保育の質の評価法」の開発や研修会²⁾が開催されている。

米国の国立子どもの健康と発達研究所（National Institute of Child Health and Human Development, NICHD）では，子どもの発達に対する保育の影響について，12年間の追跡研究を実施し，様々な角度から，保育の質の高さが子どもの将来の発達や問題行動の出現に関連

することを明らかにしている³⁾⁻⁵⁾。

また Love らは⁶⁾，保育時間の長さではなく，保育の質が子どもの発達に影響するとしている。著者ら⁷⁾⁸⁾の調査でも，日本において保育時間よりも家庭でのかかわりの質や保護者に対するサポートの有無が子どもの発達に関連していた。また一方で，質の高い保育は，家族のリスクを軽減するという報告がある⁹⁾。

Langlois ら¹⁰⁾と NICHD¹¹⁾の研究によると，4歳までの保育の質は，その後の子どもの問題行動に関連する，母親の子どもへの反応性と家族の収入は，保育の質よりも強く影響する，しかし問題行動は病的なほどのものではない，とまとめている。

* 1 筑波大学人間総合科学研究科教授 * 2 国立看護大学校研究課程部修士課程 * 3 杏林大学保健学科助手
* 4 治田西カナリヤ第三保育園長 * 5 小倉北ふれあい保育所主任保育士
* 6 路交館主任保育士 * 7 奈良佐保短期大学講師

どもの気質や性別、ストレス耐性などが子どもの発達に影響するとしている。

これまで日本においては、長時間保育を含む保育の実践の場における、多数の子どもの発達に関する実態調査は十分に実施されてこなかった。また近年の子どもの発達実態を踏まえ、科学的な根拠に基づく評価の指標となる発達チェックリストについては、知見が乏しい状況にある。現在の保育園児の発達の目安を得るために、長時間保育を利用する園児を含む、全国的な調査に基づく園児用発達チェックリストの開発は急務である。

本研究は、全国の保育園児の発達状態に関する実態調査を実施し、園児用発達チェックリストを開発することを目的とした。

対象と方法

対象は、長時間保育を行っている保育園を含む全国98カ所の認可保育園を利用する0～6歳の子ども(22,819名)とし、回収率は96.6%であった。

担当保育士が子どもの運動発達(粗大運動, 微細運動), 社会性発達(生活技術, 対人技術), 言語発達(表現, 理解)の6領域, 各領域32項目、

全192項目について、園児用発達チェックリスト試案を用いて評価した(資料1)。この試案は、既存の様々な発達検査^{16)・19)}で使われている項目を参考に、複数の子育て支援専門職の討論により、保育園において担当専門職が評価可能な項目に変更し、月齢順に並べたものである。実践の場で活用しやすいよう、原本(資料1)の左欄にはn:nnという形式で年齢:月齢が示されている。なお、評価にあたり、研修会を5回開催し、各保育所2名以上の保育専門職を対象に、「園児用発達チェックリスト」の目的と方法の説明を行った。さらに、各保育所で参加した保育専門職同士がよく把握している子ども1人について、その場で実際に評価してもらい、85%以上の一致率を確認した。また、評価マニュアルにて詳しい内容を明記し、不明な点に対応できるように配慮した。

0～6歳の子どもの各月齢別に、全192項目の通過率を算出した。すべての項目について、10%の子どもが実施可能となる月齢(10パーセントイル値)、50%の子どもが実施可能となる月齢(50パーセントイル値)、90%の子どもが実施可能となる月齢(90パーセントイル値)を算出した。たとえば、6カ月では9.8%、7カ月では10.5%の子どもが実施可能な場合、10%を超えた月齢の7カ月を10パーセントイル値とした。50パーセントイル値、90パーセントイル値も同様の方法を用いた。なお、医師による診断により障害のある子どもは分析から除外した。信頼性を検証するため、全対象の中から子どもの年齢分布に比例した形で抽出した1,396名の子どもについては、10カ月後に再度評価した。園児用発達チェックリスト試案で、実施可能な項目が暦年齢より3カラム以上低い場合に「発達面でのサポートの必要性が高い子ども」と操作的に定義し、両時点での「発達面でのサポートの必要性の高い子ども」の一致度を算出し信頼性とした。

子どもの性別は、男児が11,606名(50.9%)、女児が11,030名(48.3%)、月齢は0～11カ月が3.3%、72～84カ月が12.3%であった。きょうだいありは55.1%、核家族は65.3%、11時間以上の長時間保育の利用は33.6%であった(表1)。

表1 子どもの属性等 (N=22,819)

| 項目 | 人数 | % |
|------------|--------|------|
| 性別 | | |
| 男児 | 11 606 | 50.9 |
| 女児 | 11 030 | 48.3 |
| 不明 | 183 | 0.8 |
| 月齢 | | |
| 0～11カ月 | 742 | 3.3 |
| 12～23カ月 | 2 922 | 12.8 |
| 24～35カ月 | 3 775 | 16.5 |
| 36～47カ月 | 4 274 | 18.7 |
| 48～59カ月 | 4 222 | 18.5 |
| 60～71カ月 | 4 079 | 17.9 |
| 72～84カ月 | 2 742 | 12.3 |
| 不明 | 63 | 0.3 |
| きょうだい | | |
| あり | 12 568 | 55.1 |
| なし | 10 251 | 44.9 |
| 家族形態 | | |
| 核家族 | 14 888 | 65.3 |
| ひとり親家族(母親) | 3 581 | 15.7 |
| ひとり親家族(父親) | 215 | 0.9 |
| 拡大家族 | 4 131 | 18.1 |
| その他 | 4 | 0.0 |
| 保育時間 | | |
| 11時間未満 | 15 150 | 66.4 |
| 11時間以上 | 7 669 | 33.6 |

表2 運動発達(粗大運動)

| 項目 | 基準月齢 | 10パーセン タイル値 | 50パーセン タイル値 | 90パーセン タイル値 |
|--------------------|------|----------------|----------------|----------------|
| 仰向けで時々左右に首の向きを変える | 1 | 0 | 2 | 5 |
| 腹ばいで頭をちょっと上げる | 2 | 0 | 2 | 5 |
| 仰向けにして体を起こした時、頭を保つ | 3 | 1 | 2 | 7 |
| 首がすわる | 4 | 2 | 4 | 7 |
| 横向きに寝かせると寝返りをする | 5 | 3 | 5 | 7 |
| 寝返りをする | 6 | 3 | 6 | 7 |
| 腹ばいで体を回す | 7 | 4 | 7 | 12 |
| ひとりですって遊ぶ | 8 | 5 | 9 | 12 |
| 物につかまって立っている | 9 | 7 | 10 | 16 |
| つかまって立ち上がる | 10 | 10 | 11 | 21 |
| つたい歩きをする | 11 | 10 | 11 | 19 |
| 座った位置から立ち上がる | 12 | 10 | 12 | 19 |
| 2～3歩を歩く | 14 | 11 | 13 | 19 |
| 靴をはいて歩く | 16 | 12 | 15 | 18 |
| 走る | 18 | 14 | 18 | 24 |
| ひとりで一段ごとに足をそろ | 21 | 15 | 19 | 24 |
| えながら階段を上げる | | | | |
| ボールを前にける | 24 | 15 | 20 | 25 |
| 両足でびよんびよん跳ぶ | 27 | 18 | 23 | 33 |
| 足を交互に出して階段を上げる | 30 | 21 | 27 | 37 |
| 立ったままでぐるっと回る | 33 | 23 | 29 | 37 |
| 片足で2～3秒立つ | 36 | 27 | 33 | 43 |
| でんぐり返しをする | 39 | 27 | 33 | 43 |
| 三輪車をこげる | 42 | 30 | 38 | 48 |
| 幅跳び(両足をそろえて前に跳ぶ) | 45 | 33 | 40 | 48 |
| 片足で数歩跳ぶ | 48 | 35 | 45 | 56 |
| ブランコに立ち乗りしてこぐ | 52 | 40 | 47 | 60 |
| スキップができる | 56 | 42 | 51 | 63 |
| 片足で5秒立つ | 60 | 42 | 53 | 67 |
| ブランコをこぎながら立った | 66 | 46 | 57 | 77 |
| り座ったりする | | | | |
| 片足で10秒立つ | 72 | 46 | 60 | 84< |
| ひとりで縄跳びをする | 78 | 50 | 61 | 84< |
| まりつきでまりを脚の下にくぐらせる | 84 | 50 | 63 | 84< |

結 果

運動発達(粗大運動, 微細運動), 社会性発達(生活技術, 対人技術), 言語発達(表現, 理解)の6領域, 各項目について, 10パーセンタイル値, 50パーセンタイル値, 90パーセンタイル値を算出したものを表2～7に示す。

すべての項目について, 10パーセンタイル値, 50パーセンタイル値, 90パーセンタイル値が試案の序列に添った形で抽出された。また, 試案で設定した当初の基準月齢が, 実測結果の10～90パーセンタイル値の範囲内にあることが確認された。

一方, 信頼性は粗大運動89.6%, 微細運動92.9%, 生活技術97.9%, 対人技術92.4%, 表現82.5%, 理解91.1%であった。

考 察

本研究は, 増加を続ける長時間保育を利用す

表3 運動発達(微細運動)

| 項目 | 基準月齢 | 10パーセン タイル値 | 50パーセン タイル値 | 90パーセン タイル値 |
|---------------------|------|----------------|----------------|----------------|
| 手に触れた物をつかむ | 1 | 0 | 1 | 7 |
| 手を口を持ってしゃぶる | 2 | 0 | 1 | 7 |
| 頬に触れた物を取ろうとして手を動かす | 3 | 0 | 2 | 7 |
| おもちゃをつかんでいる | 4 | 4 | 4 | 7 |
| ガラガラを振る | 5 | 3 | 5 | 7 |
| 手を出して物をつかむ | 6 | 3 | 6 | 7 |
| おもちゃを一方の手から他方に持ち替える | 7 | 3 | 7 | 19 |
| 親指と人さし指でつかもつとする | 8 | 5 | 9 | 16 |
| おもちゃのたいこをたたく | 9 | 7 | 10 | 16 |
| びんのふたを開けたり閉めたりする | 10 | 10 | 11 | 19 |
| おもちゃの車を走らせる | 11 | 10 | 11 | 19 |
| なぐり書きをする | 12 | 10 | 12 | 19 |
| コップの中の小粒を取り出そうとする | 14 | 11 | 13 | 19 |
| 積み木を二つ重ねる | 16 | 12 | 15 | 19 |
| コップからコップへ水をうつす | 18 | 14 | 18 | 24 |
| 鉛筆でぐるぐる丸を書く | 21 | 15 | 19 | 24 |
| 積木を横に二つ以上並べる | 24 | 15 | 20 | 28 |
| 鉄棒などに両手でぶら下がる | 27 | 18 | 23 | 33 |
| まねて直線を引く | 30 | 21 | 27 | 37 |
| まねて丸を書く | 33 | 23 | 29 | 37 |
| はさみを使って紙を切る | 36 | 27 | 33 | 43 |
| ボタンをはめる | 39 | 27 | 33 | 43 |
| 投げたボールをつかむ | 42 | 30 | 38 | 48 |
| 十字を書く | 45 | 33 | 40 | 53 |
| 紙を直線にそって切る | 48 | 35 | 45 | 56 |
| はずむボールをつかむ | 52 | 40 | 47 | 60 |
| 紙飛行機を自分で折る | 56 | 42 | 51 | 63 |
| 人物画(3部分) | 60 | 42 | 53 | 67 |
| よく飛ばすように飛行機の折り | 66 | 46 | 57 | 77 |
| 方や飛ばし方を工夫する | | | | |
| 人物画(6部分) | 72 | 46 | 60 | 84< |
| 絵の具で絵を描く | 78 | 50 | 61 | 84< |
| 風船や鶴を自分で折る | 84 | 50 | 64 | 84< |

表4 社会性発達(生活技術)

| 項目 | 基準月齢 | 10パーセン タイル値 | 50パーセン タイル値 | 90パーセン タイル値 |
|-------------------|------|----------------|----------------|----------------|
| 空腹時に抱くと顔を乳の方に | 1 | 0 | 1 | 9 |
| 向けて欲しがる | | | | |
| 満腹になると乳首を舌で押し | 2 | 0 | 1 | 9 |
| 出したり顔を背けたりする | | | | |
| 顔に布をかけられて不快を示す | 3 | 0 | 2 | 9 |
| さじから飲むことができる | 4 | 1 | 5 | 9 |
| おもちゃを見ると動きが活発になる | 5 | 3 | 6 | 9 |
| ビスケットなどを自分で食べる | 6 | 5 | 7 | 9 |
| コップから飲む | 7 | 3 | 7 | 12 |
| 顔を拭こうとするといやがる | 8 | 3 | 7 | 19 |
| コップなどを両手で口に持っていく | 9 | 5 | 11 | 19 |
| 泣かずに欲求を示す | 10 | 10 | 12 | 19 |
| コップを自分で持って飲む | 11 | 10 | 12 | 19 |
| さじで食べようとする | 12 | 11 | 13 | 19 |
| お菓子の包み紙を取って食べる | 14 | 12 | 15 | 19 |
| 自分の口もとをひとりで拭こうとする | 16 | 12 | 16 | 19 |
| パンツをはかせる時, 両足を広げる | 18 | 12 | 16 | 19 |
| ストローで飲む | 21 | 13 | 16 | 23 |
| 排尿を予告する | 24 | 17 | 22 | 28 |
| ひとりでパンツを脱ぐ | 27 | 18 | 22 | 28 |
| こぼさないでひとりで食べる | 30 | 20 | 25 | 33 |
| 靴をひとりではく | 33 | 21 | 27 | 34 |
| 上着を自分で脱ぐ | 36 | 15 | 28 | 36 |
| 顔をひとりで洗う | 39 | 23 | 29 | 40 |
| 手を洗って拭く | 42 | 23 | 29 | 41 |
| 鼻をかむ | 45 | 28 | 38 | 53 |
| 入浴時, ある程度自分で体を洗う | 48 | 33 | 43 | 53 |
| 信号を見て正しく道路を渡る | 52 | 34 | 45 | 55 |
| ひとり着衣ができる | 56 | 34 | 45 | 56 |
| ひとりで外出の支度がほほできる | 60 | 38 | 51 | 64 |
| 体をタオルで拭く | 66 | 39 | 55 | 72 |
| ひとりで外出の支度が完全にできる | 72 | 42 | 57 | 84< |
| 手ぬぐいや雑巾を絞る | 78 | 45 | 57 | 84< |
| ひもを蝶結びにする | 84 | 43 | 57 | 84< |

表5 社会性発達 (対人技術)

| 項目 | 基準月齢 | 10パーセント タイル値 | 50パーセント タイル値 | 90パーセント タイル値 |
|------------------------|------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 泣いている時、抱きあげると静まる | 1 | 0 | 1 | 4 |
| 人の顔をじいっと見つめる | 2 | 0 | 1 | 4 |
| 人の声がある方に向く | 3 | 0 | 1 | 4 |
| あやされると声を出して笑う | 4 | 0 | 4 | 7 |
| 人を見ると笑いかける | 5 | 0 | 4 | 7 |
| 鏡に映た自分の顔に反応する | 6 | 3 | 6 | 12 |
| 親しみと怒った顔が分かる | 7 | 4 | 7 | 12 |
| 鏡を見て笑いかけたり話しかけたりする | 8 | 5 | 8 | 12 |
| おもちゃを取られると不快を示す | 9 | 5 | 9 | 12 |
| 身振りをまねする(オムツテンなど) | 10 | 7 | 10 | 18 |
| 人見知りをする | 11 | 7 | 10 | 18 |
| 主養育者の後追いをする | 12 | 8 | 11 | 18 |
| ほめられると同じ動作を繰り返す | 14 | 11 | 14 | 19 |
| 簡単な手伝いをする | 16 | 12 | 15 | 19 |
| 困難なことに出会うと助けを求める | 18 | 12 | 16 | 19 |
| 友だちと手をつなぐ | 21 | 13 | 16 | 22 |
| 主養育者から離れて遊ぶ | 24 | 13 | 17 | 24 |
| 電話ごっこをする | 27 | 14 | 24 | 36 |
| 友だちとけんかをすると言いつけに来る | 30 | 18 | 27 | 41 |
| 年下の子どもの世話をやきたがる | 33 | 20 | 32 | 43 |
| ままごとで役を演じるのができる | 36 | 26 | 33 | 45 |
| 「こうしていい?」と許可を求める | 39 | 27 | 33 | 45 |
| 友だちにおもちゃを貸したり借りたりする | 42 | 27 | 36 | 48 |
| 友だちと順番に物を使う(ブランコなど) | 45 | 27 | 39 | 53 |
| おとなに断って移動する | 48 | 24 | 45 | 56 |
| ジャンケンで勝負をきめる | 52 | 38 | 46 | 57 |
| 砂場で二人以上で協力して一つの山を作る | 56 | 38 | 48 | 60 |
| まねて簡単なルールのゲームができる | 60 | 40 | 53 | 67 |
| 店で買い物をしてお釣りをもらう | 66 | 45 | 59 | 80 |
| ひとりて簡単なルールのゲームができる | 72 | 45 | 60 | 84< |
| ばば抜きができる | 78 | 50 | 63 | 84< |
| 友だちがやって欲しいことを察してやってあげる | 84 | 50 | 66 | 84< |

表6 言語発達 (表現)

| 項目 | 基準月齢 | 10パーセント タイル値 | 50パーセント タイル値 | 90パーセント タイル値 |
|------------------------|------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 元気な声で泣く | 1 | 0 | 1 | 5 |
| いろいろな泣き声を出す | 2 | 0 | 2 | 5 |
| 泣かずに声を出す(アー、ウア、など) | 3 | 0 | 2 | 7 |
| 声を出して笑う | 4 | 0 | 4 | 7 |
| キーキー言う | 5 | 2 | 5 | 9 |
| 人に向かって声を出す | 6 | 3 | 6 | 19 |
| おもちゃなどに向かって声を出す | 7 | 4 | 6 | 19 |
| マ、バ、バ、などの音が出る | 8 | 6 | 8 | 19 |
| タ、ダ、チャなどの音が出る | 9 | 6 | 9 | 19 |
| さかんにおしゃべりする(囁語) | 10 | 6 | 10 | 19 |
| 言葉をまねようとする | 11 | 10 | 13 | 19 |
| 言葉を1~2語、正しくまねる | 12 | 12 | 15 | 25 |
| 2語言える | 14 | 13 | 16 | 28 |
| 3語言える | 16 | 14 | 17 | 28 |
| 絵本を見て1つの物の名前を言う | 18 | 14 | 18 | 28 |
| 絵本を見て3つの物の名前を言う | 21 | 17 | 21 | 28 |
| 二語文を話す(「わんわんきた」など) | 24 | 19 | 23 | 34 |
| 「きれいね」「おいしいね」などの表現ができる | 27 | 20 | 25 | 36 |
| 自分の姓名を言う | 30 | 24 | 28 | 41 |
| 二数詞の復唱(2/3) | 33 | 25 | 30 | 43 |
| 二語文の復唱(2/3) | 36 | 25 | 31 | 46 |
| 同年齢の子ともて会話ができる | 39 | 27 | 33 | 48 |
| 文章の復唱(1/3) | 42 | 32 | 38 | 56 |
| 文章の復唱(2/3) | 45 | 34 | 42 | 60 |
| 両親の姓名、住所を言う | 48 | 40 | 48 | 66 |
| 四数詞の復唱(2/3) | 52 | 40 | 48 | 67 |
| 文章の復唱(2/3) | 56 | 43 | 53 | 67 |
| まねて物語を話す | 60 | 45 | 57 | 70 |
| しりとりを、つなげる | 66 | 48 | 58 | 79 |
| 自発的に物語を話す | 72 | 48 | 60 | 84< |
| ひらがなの本をだいたい読む | 78 | 50 | 66 | 84< |
| 幼児語をほとんど使わなくなる | 84 | 50 | 66 | 84< |

る子どもを含む、全国の保育園児の発達実態を踏まえた日本初の指標開発という点で意義深い。また、対象者に毎日11時間以上の長時間保育を利用する子どもを含む本調査は、海外においてもこれまでに知見の少ない成果を得た点で特徴的である。さらに高い回収率であったことから、現在の日本における保育園児の発達実態の参考となる指標として活用可能と考える。

欧米の数多くの報告で、保育時間の長さではなく、保育の質が子どもの発達や問題行動の発現に影響するとしているものの^{20)・28)}、それらの多くは週30時間以上を長時間保育とするなど、日本とは異なる保育環境のもとでの調査である。日本の保育の現状を踏まえた子どもの発達指標の開発は、時宜を得たものである。

本研究の結果、園児用発達チェックリストは、全国におよぶ園児の発達状態を反映し、臨床的な妥当性、信頼性が高いことを示した。したがって本チェックリストは、運動発達、社会性発達、言語発達^{の6領域}について、現在の日本における保育園児の実態から、全体の中でどの

表7 言語発達 (理解)

| 項目 | 基準月齢 | 10パーセント タイル値 | 50パーセント タイル値 | 90パーセント タイル値 |
|--------------------------|------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 大きな音に反応する | 1 | 0 | 1 | 4 |
| 話しかけられた方を見る | 2 | 0 | 2 | 5 |
| 人の声で静まる | 3 | 0 | 2 | 7 |
| 話しかけられた方に向こうとする | 4 | 0 | 4 | 7 |
| 主養育者の声と他の人の声を聞き分ける | 5 | 2 | 5 | 7 |
| 見て笑いかける | 6 | 2 | 5 | 9 |
| 相手の話し方で感情を聞き分け(禁止など) | 7 | 4 | 6 | 12 |
| 声の方に振り向く | 8 | 4 | 7 | 12 |
| 知っている人の声を聞き分ける | 9 | 4 | 8 | 12 |
| 「いけません」と言うとき、ちょっと手を引っ込める | 10 | 7 | 10 | 14 |
| 「バイバイ」や「さよなら」の言葉に反応する | 11 | 7 | 10 | 14 |
| 要求を理解する(1/3) | 12 | 10 | 12 | 19 |
| 要求を理解する(3/3) | 14 | 11 | 14 | 19 |
| 簡単な指示を実行する | 16 | 13 | 15 | 23 |
| 絵本を読んでもらいたがる | 18 | 13 | 16 | 24 |
| 目、口、耳、足、腰を指示する(4/6) | 21 | 15 | 19 | 28 |
| 「もうひとつ」「もうすこし」が分かる | 24 | 17 | 22 | 34 |
| 鼻、髪、歯、舌、爪を指示する(4/6) | 27 | 20 | 25 | 36 |
| 大きい、小さいが分かる | 30 | 23 | 27 | 37 |
| 長い、短いが分かる | 33 | 25 | 31 | 43 |
| 赤、青、黄、緑が分かる(4/4) | 36 | 27 | 33 | 43 |
| 高い、低いが分かる | 39 | 27 | 34 | 45 |
| 数の概念が分かる(2つまで) | 42 | 30 | 36 | 50 |
| 数の概念が分かる(3つまで) | 45 | 32 | 40 | 53 |
| 用途による物の指示(5/5) | 48 | 34 | 45 | 56 |
| 数の概念が分かる(5まで) | 52 | 37 | 46 | 60 |
| 左右が分かる | 56 | 42 | 50 | 66 |
| 空腹、疲労、寒いを理解する | 60 | 42 | 55 | 67 |
| なぞなぞをする | 66 | 45 | 57 | 72 |
| 反対類推ができる | 72 | 45 | 57 | 84< |
| トランプの神経衰弱をする | 78 | 47 | 60 | 84< |
| 時計の針を正しく読む | 84 | 47 | 63 | 84< |

辺りの位置づけにあるのかを根拠を持って示すことができる指標として有効である。また、ある子どもが極端に全体の位置づけと相違する場合に、サポートの必要性に気づく道具として実践場面での活用が可能である。

本チェックリストを用いて、当事者である子どもと保護者、他の専門職との連携などに説明責任を果たしながら子育て支援に取り組むことにより、専門職のさらなる専門性の向上が期待されよう。

謝辞

本研究は、厚生労働省子ども家庭総合研究の助成を受けて実施したものである。調査にご協力いただいた全国夜間保育園連盟 天久薫会長をはじめ連盟の皆様、保護者の皆様に深謝いたします。

文 献

- 1) Anme T, Segal U. Center-based evening child care: Implications for young children's development. *Early Childhood Education Journal* 2003; 30(3): 137-43.
- 2) 安梅勅江. 子育て環境と子育て支援 - よい長時間保育の見わけかた -. 東京: 勁草書房, 2004; 1-144.
- 3) NICHD Early Child Care Research Network. Child outcomes when child care center classes meet recommended standards for quality. *American Journal of Public Health* 1999; 89: 1072-7.
- 4) NICHD Early Child Care Research Network. Nonmaternal care and family factors in early development: An overview of the NICHD study of early child care. *Journal of Applied Developmental Psychology* 2001; 22(5): 457-92.
- 5) NICHD Early Child Care Research Network. Direct and indirect effects of child-care quality on young children's development. *Psychological Science* 2002; 13(3): 199-206.
- 6) Love JM, Harrison L, Sagi-Schwartz A, et al. Child care quality matters: How conclusions may vary with context. *Child Development* 2003; 74(4): 1021-33.
- 7) Anme T, Segal U. Implications for the development of children placed in 11+ hours of center-based care. *Child: Care, Health and Development* 2004; 30(4): 345-52.
- 8) 安梅勅江, 田中裕, 酒井初江, 他. 子どもの発達への子育て環境の影響に関する5年間追跡研究. *こども環境学研究* 2005; 1(1): 1-6.
- 9) NICHD Early Child Care Research Network. The interaction of child care and family risk in relation to child development at 24 and 36 months. *Applied Developmental Science* 2002; 6(3): 144-56.
- 10) Langlois JH, Liben LS. Child care research: An editorial perspective. *Child Development* 2003; 74: 969-75.
- 11) NICHD Early Child Care Research Network. Does amount of time in child care predict socioemotional adjustment during the transition to kindergarten. *Child Development* 2003; 74: 976-1005.
- 12) Wataamura SE, Donzella B, Alwin J, et al. Morning-to-afternoon increases in cortisol concentrations for infants and toddlers at child care: Age differences and behavioral correlates. *Child Development* 2003; 74: 1006-20.
- 13) Lamb ME. Effects of nonparental child care on child development: An update. *Canadian Journal of Psychiatry* 1996; 41(6): 330-42.
- 14) Ahnert L, Lamb ME. Shared care: Establishing a balance between home and child care settings. *Child Development* 2003; 74(4): 1044-9.
- 15) Crockenberg SC. Rescuing the baby from the bathwater: How gender and temperament(may) influence how child care affects child development. *Child Development* 2002; 74(4): 1034-8.
- 16) 遠城宗徳. 遠城寺式乳幼児分析的発達検査法. 東京: 慶応義塾出版会, 1978; 1-61.
- 17) 中瀬惇, 西尾博. 新版K式発達検査反応実例集. 東京: ナカニシヤ出版, 2001; 1-153.
- 18) 津守真, 磯部景子. 乳幼児精神発達診断法. 東京: 大日本図書, 1965; 1-245.
- 19) Frankenburg WK. Denver II: Training Manual. Denver Developmental Materials, Inc; 2nd ed edition. Denver: 1992; 1-48.
- 20) Anderson B. Effects of day care on cognitive and socio-emotional competence of thirteen-year-old Swedish schoolchildren. *Child Development* 1992; 63: 20-36.
- 21) Bates J, Marvinney D, Kelly T, et al. Child-care history and kindergarten adjustment. *Developmental Psychology* 1994; 30(5): 690-700.
- 22) Baydar N, Brooks-Gunn. Effects of maternal employment and child care arrangements on preschoolers' cognitive and behavioral outcomes: Evidence from the children of the National Longitudinal Survey of Youth. *Developmental Psychology* 1991; 27: 932-45.
- 23) Belsky J, Eggebeen D. Early and extensive maternal employment and young children's socioemotional development: Children of the National Longitudinal Survey of Youth. *Journal of Marriage and Family* 1991; 53: 1083-110.
- 24) Borge A, Melhuish E. A longitudinal study of childhood behavior problems, maternal employment, and day care in rural Norwegian community. *International Journal of Behavioral Development* 1995; 18: 23-42.
- 25) Park K, Honig A. Infant child care patterns and later teacher ratings of preschool behaviors. *Early Child Development and Care* 1991; 68: 89-96.
- 26) Vandell DL, Corasaniti MA. Child care and the family: Complex contributors to child development. *New Directions for Child Development* 1990; 49: 23-37.
- 27) NICHD Early Child Care Research Network. Relations between family predictors and child outcomes: Are they weaker for children in child care? *Developmental Psychology* 1998; 34(5): 1119-28.
- 28) NICHD Early Child Care Research Network. Early child care and self-control, Compliance and problem behavior at twenty-four and thirty-six months. *Child Development* 1998; 69(3): 1145-70.